

## 平成 21 年度 阪神高速道路株式会社事業評価監視委員会 議事要旨

日 時：平成 21 年 11 月 27 日（金）10:00～12:00

場 所：阪神高速道路株式会社 本社役員会議室

出 席：委 員 長 足立 紀尚（（財）地域地盤環境研究所 理事長）  
委員長代理 斎藤 峻彦（近畿大学経営学部 教授）  
委 員 川邊 辰也（（社）関西経済連合会 常務理事・事務局長）  
" 佐藤 友美子（（財）サントリー文化財団 上席研究フェロー）  
" 西井 和夫（流通科学大学情報学部教授）

議事内容：

大和川線の再評価について

- ・コスト縮減への取り組みとして記載されている事項について、社会情勢の変化への対応という側面について追記する。
- ・三宝 JCT の本線規格からランプ規格への変更が交通需要の変化に対応可能であることを示す。
- ・事業全体での感度分析についても必要ではないか。
- ・原案どおり、「事業継続」を対応方針（案）とする。

京都線（油小路線）の再評価について

- ・京都線は料金プールが他路線とは独立していること、45 年で償還を行うことについては合併施行の導入によりクリアしたことを確認した。
- ・斜久世橋区間の暫定 2 車線整備については、計画の見直しであり、結果としてコストが削減されたとの整理を行う。
- ・油小路線と新十条通が接続されることによる効果について追記する。
- ・原案どおり、「事業継続」を対応方針（案）とする。

以 上